

持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議  
提案書

2019年(平成31年)3月

福山市持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議

## 目 次

持続可能な地域コミュニティのあり方について（提案）	1
持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議検討状況	3
2019年度の取組について	4
2019年度の展開イメージ	5
持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議の取組経過	6
福山市持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議委員名簿	12

## 持続可能な地域コミュニティのあり方について（提案）

福山市では2005年（平成17年）に「協働のまちづくり指針」を策定し、地域運営組織「まちづくり推進委員会」が主体となって地域づくりに取り組んできています。

一方で、社会経済情勢の変化や価値観の多様化、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、地域づくりにおいても様々な課題が生じており、「市長と車座トーク」などでも、市民の皆さんから地域コミュニティ維持への危機感を訴える声が寄せられています。

こうした背景を踏まえ、私たち委員は、地域コミュニティが持続可能であるための方策を見出すために、今後の取組の方向性を議論しました。

### 地域コミュニティの現状と課題

委員による市内視察や自治会連合会などへのヒアリング・意見交換により、地域コミュニティの現状と課題を以下のように把握しました。

まず、地域づくりは、まちづくり推進委員会が主導しつつ、地域の中核的組織である自治会連合会を軸に地域の各種団体と連携して展開されているものの、過疎化や自治会加入者の減少によるコミュニティ意識の希薄化、定年延長などの社会構造の変化に伴い、担い手不足が深刻化しています。

そのため、現役世代が地域づくりに参画しやすい会議運営やITを活用した迅速な情報伝達のあり方の検討も課題となっています。

また、女性会や老人会など、自治会から選出された役員を中心に地域づくりが行われているため、役職数に応じた人材確保が求められる切迫した実情と、自治会とまちづくり推進委員会、明るいまちづくり学区委員会などの類似組織が混在することから、役員が多忙化が増大し、活動に関わるマンパワーの慢性的な不足、一人が多くの役職を兼務する状況に陥っています。

こうした状況下にあっても、様々な行政施策の推進に関連して、行政各課から地域へ協力を要請する事項は依然多く、これを受ける地域は、行政からの膨大な依頼に対する負担やボランティアによる取組の限界を感じています。

さらに、地域づくりの支援は、拠点である公民館・交流館と連携しながら支所が包括的に関与し、本庁は個別課題に縦割りに対応しており、「地域に寄り添う姿勢」が希薄な状況にあります。

他方、こうした課題を乗り越えるための地域独自の知恵と工夫が、市内各地の取組の中にあることも市内視察から分かりました。これらは、全国の先進事例にも通じる地域運営のあり方でもあり、より多くの地域・市民と共有・発展させていく必要があります。

### 今後の取組の方向性

前述の課題を打開し、あらゆる地域で持続可能な地域コミュニティが形成されることをめざし、有識者会議の総意として、次の方向で取組を進めることを提案します。

- 1 多様な主体が力を発揮できる地域づくりの検討  
(みんなで取り組む地域づくりへの転換)
- 2 複雑化した地域自治組織のスリム化, 各種団体役員のあり方や効率的な組織運営の検討  
(地域組織・協議体の再構築, 会議や情報伝達方法の研究)
- 3 行政から地域への依頼事項の抜本的な見直し  
(地域への負担の軽減)
- 4 行政による地域支援体制の再構築・強化  
(庁内連携, 職員の意識改革・地域コミュニティ支援方法の確立)

これらを具現化・実現するために、講演会や勉強会などにより、みんなで地域づくりに取り組む機運を醸成していくとともに、自ら地域コミュニティの再構築に取り組む地域でのモデル事業や地域づくりに意欲的な市民・学識経験者などで構成される検討会を実施することにより、持続可能な地域コミュニティのあり方を、みんなで方向づけていきます。

また、行政自らも確固たる決意で、人口減少社会においても地域コミュニティが持続し、地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現をめざして地域支援体制の再構築や強化に取り組むべきと考えます。

その取組内容、スケジュールについては別添のとおりです。

2019年(平成31年)3月18日

福山市持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議

# 持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議 検討状況

【目的】協働のまちづくりの推進により、各学区で創意工夫のもと住民自治による地域づくりが進んでいる。一方で、人口減少・少子高齢化などの社会構造や価値観の変化により、地域コミュニティ維持への危機感を訴える市民の声を聞き、これからの地域コミュニティのあり方を考える場として開催する。



人口減少社会においても地域コミュニティが持続し  
地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現

## ■行政の地域への関わり方の見直し

地域の負担軽減や住民の暮らしを支える施策，組織体制の検討を行う。

### □内 容

- ・ 職員の意識改革につながる取組の推進
- ・ 職員の地域への関わり方の見直し
- ・ 地域への助成・支援制度の検証・再構築
- ・ 公民館・交流館，生涯学習センター，支所，本庁の役割分担や連携のあり方の整理

## ■（仮称）地域コミュニティのあり方検討委員会の開催

各種団体や市民などをメンバーにした委員会を開催し，（仮称）地域コミュニティの再構築モデル事業や庁内ワーキング会議での議論の経過を踏まえながら，今後の地域コミュニティの運営や必要な行政支援制度について検討を行う。

### □内 容

- ・ 2018年度の持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議での議論を踏まえ，各回でテーマを設定し，議論を深めていく。
- ・ 必要に応じて，地域づくりの実践者から活動状況や運営上の課題，改善策などについて聞き取りを実施。
- ・ （仮称）地域コミュニティ再構築モデル事業の実施状況をもとに，本モデル事業で得られた成果や課題などの検証を行う。
- ・ 検証結果を新たな制度構築に活かしていく。

## ■（仮称）地域コミュニティ再構築モデル事業の実施

人口減少・少子高齢社会が進行するこれからの未来社会に向けて，持続可能な地域コミュニティのあり方を検討するため，全市の先行事例として，地域コミュニティの再構築に取り組む地域を有識者ととともに支援する。

### □内 容

- ・ 地域住民がこれまでの地域づくりの課題や成果を話し合い，これからの望ましい地域運営組織の体制や事業について検討・試行を行う。（2地域を想定）
- ・ 地域づくりの拠点である公民館・交流館において，活動しやすい事務環境の構築に向けた試行を行う。

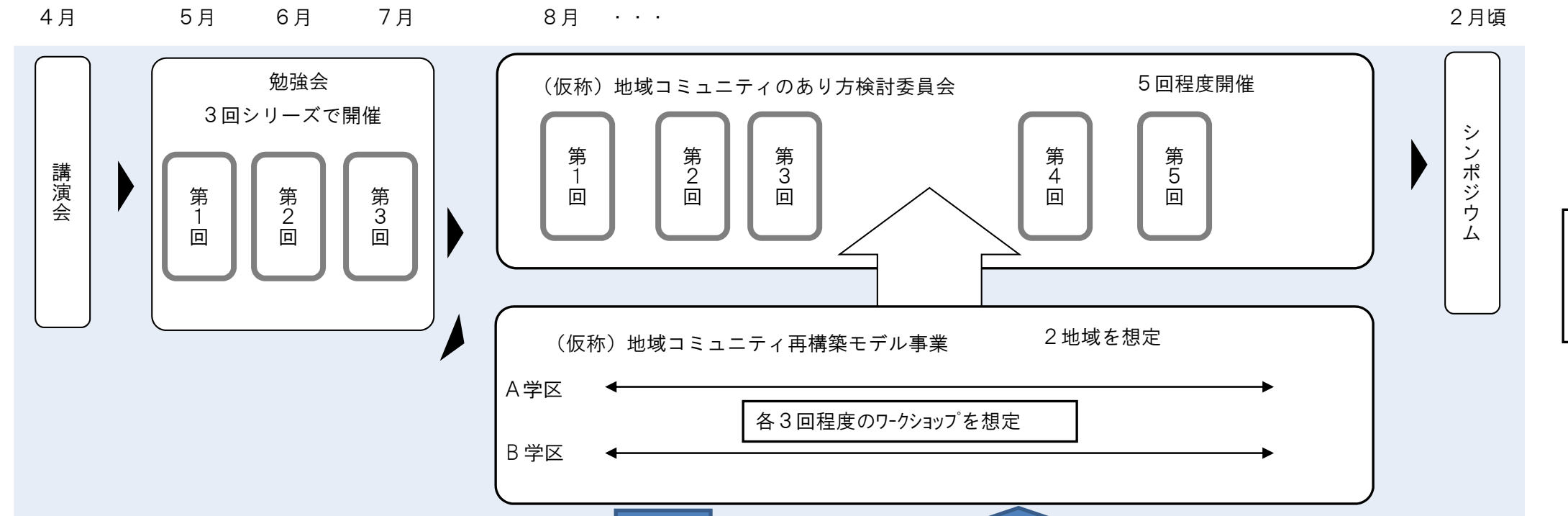


2019年度の展開イメージ

各種団体や市民などがメンバーである委員会を開催し、(仮称)地域コミュニティ再構築モデル事業の経過なども見据える中で、今後の地域コミュニティの運営や行政の必要な支援制度について検討を行う。委員会を始める前段に、問題提起として、市民向け講演会や勉強会を開催し、地域づくりに関心や課題意識のある市民の学習の機会を提供する。

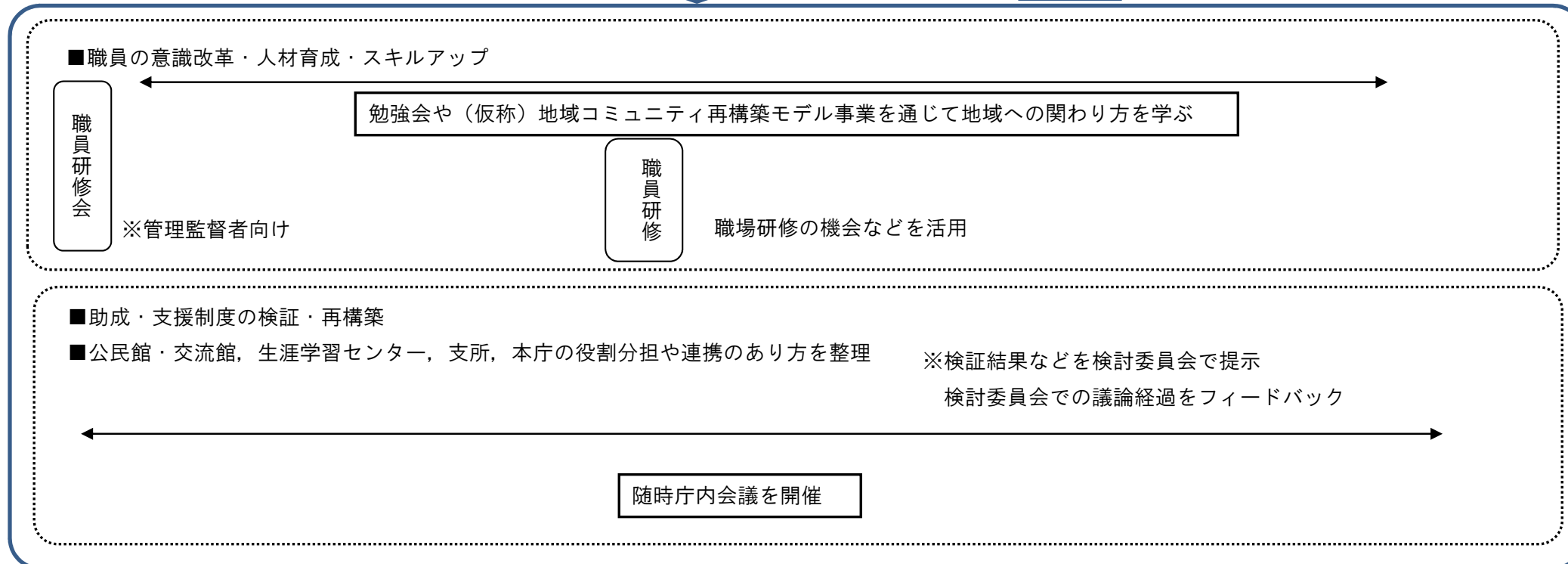
また、2018年度の持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議での議論を踏まえ、モデル地域を設定し、地域づくりの推進体制の再構築や、行政職員の人材育成の取組を行う。(2地域を想定)

行政内部においても、引き続き地域への助成・支援制度の検証・再構築を行うとともに、公民館・交流館、生涯学習センター、支所、本庁の役割分担や連携のあり方の整理に取り組む。



課題共有

地域に寄り添い、ともに解決に向けて取り組む



新たな仕組みを随時スタート

人口減少社会においても地域コミュニティが持続し  
地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現

## 持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議の取組経過

人口減少・少子高齢化などの社会構造や価値観の変化により、地域コミュニティ維持への危機感を訴える市民の声を受け、持続可能な地域コミュニティのあり方を考える場として開催。

有識者による4回の会議と7学区の地域視察を行い、本市の地域づくりの現状を把握する中で、議論の柱となる課題などを抽出し、今後の取り組むべき方向性を検討してきた。

### 1 経過

#### (1) 地域視察

日時・場所	内容	聞き取り事項（主なもの）
6月28日（木） 11時40分～16時30分 熊野公民館 山南公民館 川口東公民館	○地域視察 有識者が地域づくりのキーパーソンからヒアリング 熊野学区、山南学区、川口東学区  	<b>【熊野学区】</b> ・ コミュニティスーパーの継続化に向けた取組 <b>【山南学区】</b> ・ 若者の定住促進に向けた取組の必要性 <b>【川口東学区】</b> ・ 次世代の担い手づくり，多世代交流 
9月21日（金） 9時～17時40分 神辺公民館 日吉台公民館ほか	○地域視察 有識者が地域づくりの中心メンバーからヒアリング 神辺学区、日吉台学区 ・ まちづくり推進委員会委員長ほか ・ 公民館長 ・ 支所長，生涯学習センター所長 	<b>【神辺学区】</b> 歴史資源を活用したまちづくり ・ 地域資源の掘り起こしや活動実践者の確保の必要性 <b>【日吉台学区】</b> 高齢者の交通対策 ・ ニーズは多いが，事業実施に伴う負担が大きく，継続を不安視 



日時・場所	内容	聞き取り事項（主なもの）
<p>10月16日（火） 9時10分～16時45分 福田公民館 藤江公民館ほか</p>	<p>○地域視察 有識者が地域づくりの中心メンバーからヒアリング 福相学区、藤江学区</p> 	<p><b>【福相学区】</b> 耕作放棄地対策・鳥獣被害対策 ・ 柵設置の際の必要経費，補助金に頼らない方法の検討</p> <p><b>【藤江学区】</b> 高齢者の交通対策 ・ バス路線と同一路線の運行ができず事業展開が難しい。</p> 


## (2) 会議の開催

日時・場所	主な議題	委員から出された意見(主なもの)
<p>8月28日（火） 14時30分～17時 本庁舎6階60会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の地域コミュニティの現状説明（まちづくり推進委員会の運営，地域への助成・支援制度など）</li> <li>地域コミュニティ維持に係る国の検討状況などについての講話</li> <li>有識者会議で議論していく方向性について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくりに対する行政支援策の全体像を把握する必要がある。</li> <li>本年度は，地域組織のあり方，行政支援のあり方の枠組みのイメージを共有することをめざす。</li> </ul> 
<p>10月26日（金） 13時30分～16時30分 議会棟3階第5委員会室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域視察の報告</li> <li>地域視察を踏まえ，今後の進め方を議論</li> </ul> 	<p>■地域視察の報告に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他地域のモデルになる好事例が市内にあるので，まちづくり推進委員会同士で情報共有することが必要である。</li> <li>高齢化や，地域づくりを担う新たな人材が参画しにくい状況がある。</li> <li>地域づくり支援にかかわる公民館業務が増加している。</li> </ul> <p>■今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の負担感を減らしていくためには，まちづくり推進委員会の組織再編や行政からの協力要請を減らすことが必要である。</li> <li>市内の好事例を全体で共有することが必要である。</li> <li>次年度は，地域コミュニティの再構築に取り組む地域をモデル的に支援したらよいのでは。</li> </ul>

日時・場所	主な議題	委員から出された意見(主なもの)
1月6日(火) 13時30分～16時30分 議会棟3階第5委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりの実践者との意見交換(日吉台学区)</li> <li>・今後の進め方について <ul style="list-style-type: none"> <li>◇議論の柱と方向性の整理</li> <li>◇1月以降の進め方の共有</li> </ul> </li> <li>・情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域への依頼案件に対する全庁調査の集約状況(中間報告)</li> </ul> </li> </ul> 	<p>■今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の地域コミュニティ再構築モデル事業は、自分たちで再構築に取り組みたい意欲のある地域を対象に実施していくことが重要。前段に、講演会や勉強会を開催するとよいのでは。</li> <li>・再構築に取り組む地域への関わり方として、協働のまちづくり課と生涯学習センター職員が、連携しながら取り組んでいく必要がある。</li> <li>・地域コミュニティ再構築モデル事業と並行して、幅広い市民と有識者、行政が地域コミュニティのあり方を検討するため委員会の開催を検討してはどうか。</li> </ul>
1月22日(火) 13時30分～16時30分 本庁舎6階60会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会連合会との意見交換</li> <li>・今後の進め方について <ul style="list-style-type: none"> <li>◇提案書について議論</li> <li>◇次回の進め方の共有</li> </ul> </li> </ul> 	<p>■提案書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり推進委員会の設置目的を現役員に正しく理解してもらうため、行政はきちんと説明すべき。</li> <li>・行政側の課題もしっかり明記すべき。</li> <li>・行政から地域へお願いすることの統一的な仕組みを整理する必要がある。</li> <li>・自治会長が行政からの依頼で多忙な状況を明らかにする必要がある。</li> <li>・まちづくり推進委員会や自治会をサポートする行政支援や連携体制のあり方を検討する必要がある。</li> <li>・地域コミュニティ再構築モデル事業の実施により、職員も地域支援のスキルを学び力量を高める機会とする。</li> <li>・地域に在住している行政職員が、積極的に、地域活動を行ってほしい。</li> </ul>
3月18日(月) 13時30分～15時 本庁舎6階60会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案書についての意見交換</li> <li>・市長へ提案</li> </ul>	

### (3) 庁内ワーキング会議の開催

日時・場所	主な議題	主な協議内容
5月29日(火) 14時～16時 市民参画センター 4階会議室1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域課題の集約</li> <li>○有識者会議について <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置目的</li> <li>・有識者による地域視察の実施</li> <li>・有識者会議での検討課題</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者会議の設置目的、内容について共有</li> <li>・各生涯学習センターへ視察先地域や検討テーマの依頼</li> </ul>


日時・場所	主な議題	主な協議内容
6月25日(月) 10時～12時 市民参画センター 5階会議室1	○有識者会議での検討課題 ○地域による補助制度についての要望 ○視察先の検討状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論項目を整理</li> <li>・地域への補助制度の全体像を現状把握する必要性を共有</li> <li>・視察先の検討状況の共有</li> </ul>
10月2日(火) 10時～12時 市民参画センター 4階会議室1	○地域視察報告(神辺, 日吉台) ○地域視察予定(福相, 藤江) ○10/26有識者会議の協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域視察で得られた地域課題を共有</li> <li>・有識者会議の進め方を協議</li> </ul>
10月30日(火) 14時～16時 市民参画センター 4階会議室1	○地域における現状と課題, 対応策 拠点支所, 生涯学習センター, 本庁グループに分かれ, ワークショップにより, 意見を出す。      10/30 ワークショップによる意見出し	① まちづくり推進委員会の組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり推進委員会は地域づくりを推進する上で必要な組織であり, 効果的に機能させるための再構築が必要なのではないか。</li> </ul> ② 担い手づくり (地域住民・市職員) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・職員ともに, 研修体制が十分でなく, 研修内容を見直し, 実効につながる人材育成が必要である。</li> <li>・地域に直接関わる職員はどうあるべきかの整理が必要である。</li> <li>・担い手である地域住民が活動しやすい環境づくりが必要である。</li> </ul> ③地域課題の把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支所・生涯学習センターは直接的に地域課題を把握し, 本庁は間接的に把握することが多い。連携体制に課題がある。</li> <li>・学区担当者が公民館・交流館や地域へ出向き, 地域住民と話す機会を重ね信頼関係を構築することがまず必要である。</li> </ul>
1月8日(火) 14時～16時 市民参画センター 4階会議室1	○提案書について ○地域の個別課題解決の先進事例を学ぶ「地域の未来づくりフォーラム」開催内容 (東部生涯学習センター) ○次回有識者会議について ○次年度以降の展開について <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会, 研修会, 勉強会, あり方検討委員会, シンポジウム</li> <li>・再構築モデル事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案書の共有</li> <li>・地域の未来づくりフォーラム開催内容の共有</li> <li>・次回の有識者会議における意見交換の進め方について協議</li> </ul> 【協議テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における自治会の役割</li> <li>・まちづくり推進委員会における自治会の役割</li> <li>・市自治会連合会と学区, 単位自治会の連携</li> <li>・子ども会・女性会など地域の民主団体との関わり</li> <li>・地域課題について話し合い, 解決に向けて力を合わせる地域運営組織のあり方</li> </ul>



日時・場所	主な議題	主な協議内容
2月13日(水) 10時～12時 市民参画センター 4階会議室1	○提案書の内容について ○地域への負担軽減策の検討について	・提案書について協議 ・地域の負担軽減に向けての課題抽出を各生涯学習センターに依頼 ・公民館・交流館へ事務環境改善に向けた調査を依頼

#### (4) 研修等

日時・場所	概要	内容
1月22日(火) 10時～12時 本庁舎6階60会議室	○市民協働に係る役職員研修会 (部長職以上の職員, 政策担当課長) <b>テーマ</b> 「市民協働による自治体経営を進めるために ～その意味と行政の役割～」 <b>講師</b> 高崎経済大学 地域政策学部地域づくり学科 櫻井常矢教授 ※講義を踏まえ、役職員が各業務における市民協働について考える 	1 なぜ今、市民協働なのか (全国的な動向, 時代背景) ・多様化・深刻化する地域課題 ・行政だけでは課題解決できない ・市民の皆さんの力を借りないと暮らしが維持できない時代 2 市民協働の意味と実践 地域の暮らしを支えるために、市民と行政が協議し、地域課題を解決する。 (1)プロセスとしての市民協働 地域課題の把握→協議→役割の明確化→解決に取り組む→評価・振り返り→協議→改善 (2)協議の場(話し合い)の制度化 3 市民協働による自治体経営に求められること (1)市民協働への道筋 地域が力をつけるサポートができるよう行政も体制を整え、仕事のやり方を変える。 (2)市民と行政の役割(仕事)を見直していくプロセス
1月26日(土) 13時30分～16時 東部市民センターホール	○地域の未来づくりフォーラム in ふくやま(第1部) (市民, 地域団体関係者, 行政関係者など※備後圏域に参加呼び掛け) <b>テーマ</b> 「全国の先進事例に学ぶ」 事例発表, パネルディスカッション <b>ナビゲーター</b> 福山市立大学 都市経営学部 渡邊一成教授	<b>事例発表</b> ・NPO法人ちば地域再生リサーチ(千葉市)・団地再生・高齢者支援・コミュニティビジネス ・高齢者等生活支援プロジェクトほっとらいふ(大阪府富田林市) ・高齢者支援・シェアリングエコノミー・IT支援 ・六原まちづくり委員会(京都市) ・空き家・防災対策・他団体連携 ・手づくり公園まさごの会(千葉市) ・パークマネジメント・居場所づくり・環境保全 <b>パネルディスカッション</b> 事例発表者をパネリストに、地域課題の解決に取り組む先進事例の成功要因や組織づくりなどについて、来場者の質問を交え意見交換

日時・場所	概要	内容
	 <p data-bbox="568 658 868 680">パネルディスカッションの様子</p>	<p data-bbox="1023 170 1362 197">■ディスカッションテーマ</p> <p data-bbox="1023 203 1449 230">①活動に関心をもってもらう工夫</p> <p data-bbox="1023 237 1246 264">②専門家の関わり</p> <p data-bbox="1023 271 1418 297">③持続可能な活動であるために</p> <p data-bbox="1023 304 1390 331">■ナビゲーターによるまとめ</p> <p data-bbox="1023 338 1469 416">持続可能なコミュニティづくりの3つのポイント</p> <p data-bbox="1023 423 1449 450">① 地域の活動は地域の人が創る。</p> <p data-bbox="1023 456 1469 568">② 地域の活動は地域の人だけで創るものではない。専門家も一緒に創る。</p> <p data-bbox="1023 575 1422 602">③ 地域の活動の自走をめざす。</p>
<p data-bbox="204 725 416 752">3月24日(日)</p> <p data-bbox="204 759 464 786">14時～16時(予定)</p> <p data-bbox="204 792 517 871">広島県民文化センターふくやまホール</p>	<p data-bbox="547 725 995 792">○地域の未来づくりフォーラム in 福岡 (第2部)</p> <p data-bbox="547 799 995 866">(市民、地域団体関係者、行政関係者など※備後圏域に参加呼び掛け)</p> <p data-bbox="547 873 635 900">テーマ</p> <p data-bbox="547 907 868 934">「地域で実践するために」</p> <p data-bbox="547 940 995 967">基調講演、パネルディスカッション</p> <p data-bbox="547 974 719 1001">ナビゲーター</p> <p data-bbox="547 1008 916 1034">福山市立大学 都市経営学部</p> <p data-bbox="547 1041 719 1068">渡邊一成教授</p>	<p data-bbox="1023 725 1139 752">基調講演</p> <p data-bbox="1023 759 1469 826">“ニュータウン”が“我がふるさと”～東京・多摩NTでの奮闘記～</p> <p data-bbox="1023 833 1422 860">NPO法人フュージョン長池</p> <p data-bbox="1023 866 1219 893">富永一夫会長</p> <p data-bbox="1023 900 1337 927">パネルディスカッション</p> <p data-bbox="1023 934 1469 1124">第1部を踏まえ、ナビゲーターの進行により、<u>まちづくりに取り組む若い世代</u>とともに地域での実践に向け、来場者を交えた意見交換を実施する。</p> <p data-bbox="1023 1131 1166 1158">パネリスト</p> <ul data-bbox="1023 1164 1469 1382" style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人フュージョン長池 富永一夫会長</li> <li>・B-with 田村晃宏会長</li> <li>※福山ブランド登録活動</li> <li>・川口東学区子どもまちづくり委員会 谷本龍馬委員</li> </ul>

## 福山市持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議委員名簿

委員：選任期間 2018年（平成30年）就任承諾日から所掌事務が終了するまで

	名前	所属等	分野
座長	わたなべ かずなり 渡邊 一成	福山市立大学都市経営学部副学部長 同大教育研究交流センターセンター長	都市計画・地域計画 都市交通
委員	さくらい つねや 櫻井 常矢	高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科 総務省地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員	協働のまちづくり 地域づくり 地域組織のあり方
委員	さわ なおゆき 澤 尚幸	総務省地域力創造アドバイザー 一般社団法人コミュニティフューチャーデザイン代表 (福山市経営戦略監)	地域づくりコンサルタント
委員	さとう けんいち 佐藤 賢一	福山市自治会連合会会長	
行政	こはたけ おさむ 小葉竹 靖	福山市市民局長	

委員のほか、有識者会議での議論の進展により、全国や市内の実践者を招へいする。

(事務局)

市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課

(庁内ワーキング)

市民局長（※有識者会議委員）、市民局まちづくり推進部参与、まちづくり推進部長、松永支所長、北部支所長、東部支所長、神辺支所長、企画財政局企画政策部地域活性化担当部長、協働のまちづくり課長、まちづくり総務課長、人権・生涯学習課長、松永地域振興課長、北部地域振興課長、東部地域振興課長、神辺地域振興課長、中部生涯学習センター所長、南部生涯学習センター所長、企画財政局企画政策部地域活性化担当課長